

イネのいもち病の防除対策について

7月15日に注意報が発令された後も葉いもちの発生が拡大し穂いもちの被害が懸念されることから、この度8月1日付けで病害虫防除所からいもち病の技術資料が発表されました。

つきましては、防除に万全が期されますよう、下記及び「発生予察技術資料第5号」(写)を参考に、ご指導をお願いします。

記

1 今後の予想

- (1) 発生地域 県内全域
- (2) 発生量 やや多

2 防除対策

(1) 防除時期

- ・ 粉剤及び液剤 : 穂ばらみ後期と穂ぞろい期の2回です
- ・ 粒剤及びパック剤 : 出穂前に施用します

※ ただし、葉いもちが発生しているほ場は直ちに防除してください。なお、穂いもちの防除予定日まで7日以上ある場合(止葉抽出前)は、葉いもちの防除を行い、その後穂いもちの防除を実施してください。

(2) 防除薬剤

- ・ 防除薬剤は表(平成28年山口県農作物病害虫・雑草防除指導基準)を参照してください。
- ・ 治療効果の高い剤はブラシン剤・ノンプラス剤(殺菌剤コードU14)、ダブルカット剤(同24)及びトライ剤(同不明)です。

3 留意事項

- ・ 出穂後に天候不順が続く場合は、穂揃期の7~10日後に再度防除してください。